

# Network



ガーベラの花言葉  
「希望」「前進」

## 特別寄稿

### 被爆医療、原発労働者の健康問題

広島共立病院 健診センター長 青木 克明

1990年に故郷広島共立病院に帰ってきましたが、この度退職して東京に移住することとなりました。皆様方の温かいご指導で仕事を続けてこられたことに厚く感謝いたします。



広島医療生協原爆被害者の会（会長 丸屋博広島共立病院院長）役員会

2000年頃

初代院長 故 丸屋博先生は広島医療生協原爆被害者の会会長でもあり、被爆者援護は広島共立病院の医療活動の柱のひとつでした。母が被爆者である私もこの活動に加わりました。

広島医療生協では 2018年度の被爆者検診は広島市の3.9%にあたる2608件、被爆2世検診は26%にあたる1736件を実施しています。

被爆者は原爆放射線が原因でがんなどを発症した場合は原爆症と認定されて医療特別手当が支給されますが、きびしい審査があり、認定被爆者は全体の0.7%に過ぎない約2000人でした。2003年に認定制度の抜本改正を求

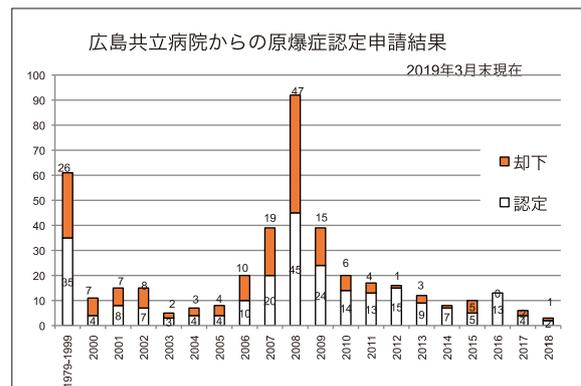
める全国集団訴訟がおこされ、私が胃癌の手術をさせていただいた患者さんも原告になったことから主治医の私も支援活動に加わりま



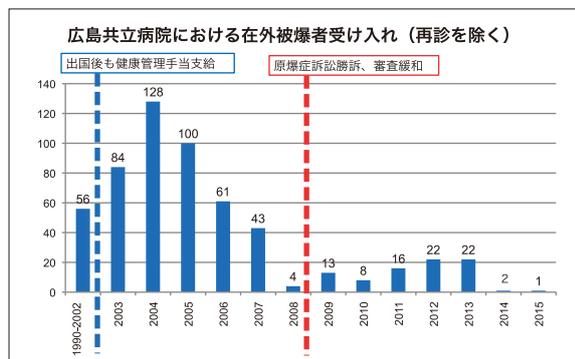
青木医師、アオギリと

した。訴訟は全面勝訴して認定制度はがんについては改善されましたが、非がん疾患は従来と変わらないため、2009年にノーモアヒパクシャ訴訟が開始されて現在も続いております。広島共立病院では相談室が窓口となって1979年以降422件の原爆症認定申請をおこない253件（60%）が認定されています。

在外被爆者に対する援護は人道的支援に限定されていましたが、国内並みの援護を求めて国を相手取った訴訟が在外被爆者と国内の



支援者によって次々におこされました。勝訴を重ねた結果国内並みの援護が実現しています。



広島共立病院では1990年～2003年に在韓被爆者渡日治療委員会による入院治療を53人受け入れました。2003年に健康管理手当の支給が出国後も継続されることとなりましたが、申請するには来日しなければならないため、多くの在外被爆者が受診されて診断書を作成しました。尿管カテーテルが入った車いすの被爆者もおられ、非人道的な措置でしたが2008年に現地公館からの申請が可能となりました。原爆症認定制度の改善後には認定を希望しての受診者がふえました。1990年以降受け入れた在外被爆者は韓国472人、ブラジル44人、米国36人など8ヶ国から562人に達しました。原爆症は35人が申請して22人が認定されました。



地震国日本に多くの原発が作られ重大事故の発生が危惧されていましたが、東日本大震災で福島原発事故が起こり、広島にも多くの方が避難してこられました。避難者相談外来をもうけてMSWとともに健康相談をおうけして61名が受診されました。福島からが36人、

その他が25人です。3次下請けで廃炉作業に派遣された労働者もおられ、診察室に入るなり「だるい」と言ってベッドに横になりました。被爆者医療の先駆者であった肥田舜太郎先生が言われていた「原爆ブラブラ病」にそっくりだったので驚きました。貧血があり、廣大血液内科に紹介して精密検査を受けていただきましたが原因は不明でした。廃炉作業のため多くの労働者が危険な目に遭わされている実態を垣間見ることとなりました。

2013年から年に1回、甲状腺エコー、血液一般検査（各500円）と診察による集団健診を開始して毎回約30人が受診されています。避難者の会からの要請にこたえてポータブルエコー機を持参しての出張甲状腺検査を27回のべ623人に実施しました。

広島共立病院はかつての安村にあり、原爆のとき小雨が降ったとされます。しかし、もっと広い地域に黒い雨が降っており、被爆者認定を求めて住民によって「原爆黒い雨被爆者訴訟」がたたかわれています。広島共立病院も当事者であり支援をしています。

核兵器も核発電もない世の中が一日も早く実現するよう行動を続けていこうと思いますので、よろしくお願いします。



裁判所アパート南 爆心1120m クスノキ 樹高17.5m周囲3.8m  
元は広島城 北の郭だったが軍都化により第五師団兵器部となり、土壘で囲まれた弾薬庫があった。戦後、兵器部が裁判所となったのは、軍事国家から法治国家に変わった象徴と言える。アパートは近く中国管財局に返還されるが、土壘とクスノキはセットで広島市が管理すべきである



## 外科

外科部長 大田垣 純 医師

各医療機関の先生方、いつも大変お世話になっております。今回は広島共立病院外科について紹介させていただきます。

外科はわたくし大田垣と長嶺一郎医師、今年4月から常勤となった郷田紀子医師、中島千佳医師の4人体制で診療を行っています。平均年齢はかなり若返り女子率が高くなりました。郷田医師は8月から11月まで産休のため、今は木村まり先生に週3回乳腺外来をしていただいています。

当病院の外科では主に消化器疾患を扱っています。具体的には、悪性疾患では大腸癌、胃癌、肝癌、胆嚢癌、膵癌などです。良性疾患では胆石症、胆嚢炎、虫垂炎、大腸憩室炎、鼠径ヘルニアをはじめとする各種腹壁ヘルニア、肛門疾患を扱っています。また気胸などの呼吸器疾患や乳癌などの治療も行っています。乳腺関係の診療は女性の専門医が担当しています。当院独自の治療というものはありませんが、各疾患のガイドラインに従った治療を行っています。

私たちが今、最も心がけているのは低侵襲な治療で、最近では高齢の患者様が多く、それぞれの方の病状や体の状態に適した体に優しい治療を行えるよう工夫をしています。その一環として腹腔鏡下手術も多く行っており、大腸癌の大部分、胆嚢摘出術、虫垂炎、早期胃がん、胃十二指腸潰瘍穿孔などには腹腔鏡手術を行っており、気胸に対する胸腔鏡手術も行っています。

癌の治療ではその進行度により早期癌であれば縮小手術を行い、進行がんに対しては手術だけでなく、必要な症例には抗がん剤治療も併用して行っています。進行再発がんに対しては緩和ケア科と連携しながら抗がん剤治療などを行っています。

数年前から当院では、急性虫垂炎の保存的治療を積極的に行っています。多くの方が急性虫垂炎は手術をしなければならないと思われているようですが、抗生剤による保存的治療で多くの軽症～中等症の急性虫垂炎は治ることが明らかになっています。保存的治療後1年での再燃率は20～30%と低く、保存的治療の手術に対する非劣勢は証明されてはいませんが、手術が必要ではない症例が多くなっています。実際に保存的治療を希望される方は過半数を占めます。手術と保存的治療のそれぞれの利点と欠点を十分に説明して患者さんのご希望に合った治療法を選択していただこうにしています。CTでの急性虫垂炎の診断率は非常に高く、虫垂炎が疑われる症例はいつでも気軽に紹介してください。

また外来での中心静脈リザーバー植え込み術なども行っていますので、地域連携を通じて紹介していただければ対応します。

安佐南区で唯一外科手術を行っている病院として頑張っていますので、今後ともよろしく願います。



第44回 特別講演  
2019年5月22日(水)

## 「COPD—我々はこの疾患をどう診るべきなのか—」

広島大学大学院分子内科学／広島大学病院呼吸器内科  
教授 服部 登先生



服部 登先生

今後一層の増加を示すと考えられるCOPD患者をどのように診るべきかについてご理解いただくことを目標として、1) ありふれた疾患であるが診断されていない患者が非常に多い、2) 患者の隠れた呼吸困難症状に着目して早期診断に努めよう、3) 症状とQOLを改善させることが最も重要であり、そのためには長時間作用型抗コリン薬/長時間作用型 $\beta$ 2刺激薬合剤の使用とリハビリテーションの実施が勧められる、4) 呼吸困難を原因とする身体活動性低下が予後不良因子であり、身体活動性の維持に努めるべきである、というメッセージをお伝えした。また、吸入ステロイド薬が効果を示す可能性のあるCOPD患者についての情報も提供した。

第45回 特別講演  
2019年6月20日(木)

## 「大腸内視鏡診療の最前線～腫瘍のスクリーニングから精査まで～」

広島大学病院 内視鏡診療科  
教授 田中 信治先生



田中 信治先生

大腸癌は本邦のがん死亡率第2位、罹患率第1位に位置しており、炎症性腸疾患も含め21世紀は大腸の時代と言われている。平坦陥凹型大腸腫瘍の頻度は決して高くはないが、高い浸潤転移能や早い進展速度などその悪性度が高いことから早期発見と治療に留意する必要がある。「ポリープ」のみを意識した大腸内視鏡検査では、平坦陥凹型腫瘍やLSTを見逃す可能性が高い。講演では多くの症例を呈示し、診断のコツとピットフォールについてお話した。さらにNBIなどの画像強調拡大観察の有用性についてJNET分類を中心に解説し、cold polypectomyの問題点やESDの最近の話題についても概説した。

第46回 特別講演  
2019年8月28日(水)

## 「大学病院 総合診療科の現状と未来」

広島大学病院 総合内科・総合診療科  
准教授 菅野 啓司先生



菅野 啓司先生

総合医の必要性が約30年前より検討され、2018年度より開始された新専門医制度において総合診療科は19番目の最も新しい基本領域専門医として認められた。広島大学病院 総合診療科は全国の国立大学では3番目の1989年に設立され、総合医の育成を行ってきた。国民医療費の増加に伴い、効率的かつ患者満足度の高い医療を提供するため、社会における総合医の需要は大きいと思われる。しかし、総合医のあるべき将来像や専門医制度プログラムの在り方など、十分には体制が整っているとはいえず、総合診療科プログラム申請専攻医数は期待を大きく下回っている。今後、総合医を取り巻く問題点の解決と総合医の魅力の啓発が重要と思われる。



「麻疹・風疹について」

広島共立病院 小児科 森下 直人 医師



麻疹および風疹は、五類感染症（全数把握疾患）に分類され、非常に重篤な合併症をもたらす疾患である。そのため、両疾患を疑った場合、速やかに最寄りの保健所に届出を行い、場合によっては PCR 検査を行う必要がある。また感染力も非常に強いため、確定診断されるまで、周囲への感染防御対策が必須とされる。麻疹の



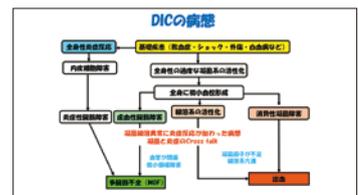
場合は免疫不全患者、風疹の場合は妊婦への感染が特に注意を必要とする。わが国のワクチン行政において、ある特定の年代では、麻疹、風疹の抗体価が無い、もしくは非常に低く、このため、近年、両疾患の局地的な流行が発生している。医療従事者は常に両疾患に接触する機会があると考え、医療機関は職員の抗体価の把握、およびワクチン接種を勧奨する必要がある。

「敗血症性DICの病態と治療」

医療法人生仁会 福井内科医院 副院長 福井 英人 先生



DICの病態は凝固と炎症のCross-talkともいわれ、消費性凝固障害、虚血性臓器障害、炎症性臓器障害の3つの障害により、凝固線溶異常に炎症反応が加わった病態である。敗血症性DICは多臓器不全の原因にもなりうるため、早期に診断して、早期から治療を開始することが重要である。そのためには急性期DIC診断基準が有用である。DICの治療で最も重要なものは基礎疾患の治療であり、



原疾患の治療が成功しなければ、DICは改善しない。また、本邦では多数のDIC治療薬が存在するが、抗DIC薬はいずれも高額で、出血のリスクもある薬剤であり、適応を考慮して適切な症例に対して使用するべきである。APACHE II 25点以上でAT-III 活性50未満である重症症例に対しては遺伝子組換えトロンボモジュリンとアンチトロンビン製剤の併用が有効であると考えられる。

「人工股関節置換術について」

広島共立病院 整形外科 濱西 道雄 医師



変形性股関節症をはじめとした股関節疾患によるADL障害に対し、人工股関節置換術は非常に有効な治療選択肢である。従来から広く用いられてきた後外側アプローチは、手技が比較的容易な反面、後方組織を広範囲に切離するため、術後後方脱臼のリスクが高くなる問題があった。そこで近年は、仰臥位で前方より関節の展開を行う、仰臥位前外側アプローチが広まってきている。後方関節包・短外旋筋群を切離さないため、非常に優れた耐脱臼性を有し、また仰臥位で行うため、インプラントの設置異常を起こしにくい利点も有する。肥満や筋肉質などにより前外側アプローチが困難な症例においては、後方組織の切離を最小限にとどめたdirect superior approachが、術後脱臼リスクを軽減しうる手技として近年注目されつつある。



基本的には進行期以上の変形を有し、保存療法（内服薬・リハビリテーション・物理療法等）に抵抗する60歳以上の高齢者が適応となる（長期成績の向上により、状態によってはより若年でも適応とする場合がある）  
変形が比較的軽度であっても、疼痛や機能が著しく、他の手術・保存的治療では効果が期待できない場合は、人工股関節置換術を行う場合がある  
股関節の軟骨由来の疼痛を除去する非常に効果的な手術であり、20世紀で最も成功した整形外科手術の一つとされている

2019年10月	診療開始～受付終了	専門外来等	月	火	水	木	金	土	
健診	(市・被爆者・協会けんぽ等各種健診・人間ドック他) ①乳がん検診	午 前 <b>予約制</b>	桑原 中増	桑原 ①乳川口	廣川 中増	桑原・廣川 ①乳川口	桑原 中増	1.3.5週 古江 中増	
		午 後 <b>予約制</b>	中増		古江・中増	桑原	中増		
禁煙支援外来	午前9時～11時30分	再診のみ <b>予約制</b>		木山					
	午後5時～6時30分	再診のみ <b>予約制</b>				2.4週 木山			
内科  (当院に初めて受診される方は、予約制ではありません)	午前9時～11時30分	総合診療内科 <b>予約可</b>	山田・木村 高橋	吉國・ウオン 山田	山田・山科 中村(晴)	鷹屋・久保田 吉國・野田・舟木(洋)	山田・山科 吉國	1.3.5週 鷹屋・山田 吉國	
		循環器内科 <b>予約制</b>	鷹屋・伊藤		鷹屋・村田		秦・村田		
		呼吸器内科 <b>予約制</b>			下地				
		消化器内科 <b>予約制</b>			加太・西原		西原	ウオン	1.3.5週 ウオン 中村(晴)・久保田
		糖尿病内科 <b>予約制</b>	森下		森下		森下	森下	1.3.5週 森下
	午後2時～4時30分	<b>予約制</b>		大谷・木山 大谷					
		リウマチ科 <b>予約制</b>				舟木(将)			
		午後5時～6時30分 (定期通院されている) 予約の方のみ	呼吸器内科 <b>予約制</b>				2.4週 木山		
			循環器内科 <b>予約制</b>				鷹屋		
			消化器内科 <b>予約制</b>				西原		
糖尿病内科 <b>予約制</b>				森下					
脳神経内科	午前9時～11時30分/午後2時～4時30分	<b>予約制</b>	祢津						
精神科	午前9時～11時30分	<b>予約制</b>				山本			
緩和ケア内科	午前9時～11時30分	<b>予約制</b>	本家	舟木(洋)	本家	本家	加太		
	午後1時30分～4時30分								
リハビリテーション科	午前9時～11時30分	○理学・作業・言語・ 物理の各療法 <b>予約制</b>	○	○	木村 ○	澤 ○	○	1.3.5週 ○	
	午後1時30分～4時30分		○	○	○	○	○		
外科	午前9時～11時30分	<b>予約可</b>	大田垣	長嶺 中島	木村(ま)	大田垣 中島 木村(ま)	長嶺 木村(ま)	1週 長嶺・木村(ま) 3週 大田垣・中島 5週 交替	
	午後3時～4時30分								
乳腺外科	午後2時～4時30分	<b>予約可</b>					舛本		
心血管外科	午後2時～4時30分	<b>予約可</b>				片山/山根 交替			
脳外科	午後2時～4時30分	<b>予約制</b>					広島大学		
整形外科	午前9時～11時30分	<b>予約可</b>	市川・土井 濱西	田中 森	森 亀井	市川・田中 濱西	田中 土井	1週 土井・濱西(市川) 3週 田中・森 5週 市川・濱西	
	午後4時～6時30分	<b>予約可</b>		1.3.5週 市川 2.4週 濱西 土井		森 古田			
小児科	午前9時～11時30分	☐小児一般	☐友田	☐森下	☐友田	☐森下	☐友田	☐13.5週 森下 ☐予吉國	
	午後2時～3時	☑アレルギー <b>予約制</b>	☑2時～3時30分 森下		☐2時～4時30分 1.3.5週 森下 2.4週 友田	☑2時～3時30分 友田	☐13.5週 森下 2.4週 友田		
	午後3時～4時30分	☑予防接種 <b>予約制</b>	☐森下				☐森下		
	午後5時～6時	☑乳児健診 <b>予約制</b>							
眼科	午前9時～11時30分	カウンセリング <b>予約制</b>	太田・芳西			太田・芳西	太田・芳西		
泌尿器科	午前9時～11時30分	(月)(木)は午前10時～	広島大学		山崎	広島大学	山崎	1.3.5週 広島大学	
	午後2時～4時30分		広島大学		山崎	広島大学		1年前も休診の場合有り	
耳鼻いんこう科	午前9時～11時30分		大橋	大橋	大橋	大橋	大橋	1.3.5週 大橋	
	午後3時～4時30分		大橋			大橋	大橋	1年前も休診の場合有り	
皮膚科	午前9時～11時30分	<b>予約可</b>	坂本	坂本	坂本	坂本	坂本	1.3.5週 坂本	
	午後2時～3時00分							1年前も休診の場合有り	
婦人科	午前9時～11時30分	初診(再診) <b>予約可</b>	三田尾	三田尾	三田尾	三田尾	三田尾	1.3.5週 三田尾	
	午後2時～4時00分	子宮がん検診 <b>予約制</b>	三田尾	三田尾		三田尾		1年前も休診の場合有り	

## 地域連携だより

皆様のおかげで、広島共立病院は9月1日で、新築移転してから丸5年を迎えることができました。この5年間で在宅医療介護を担う多職種連携が、とても旺盛になっています。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。  
(地域連携部 主任 権藤正広)

**広島共立病院**  
**オープンカンファレンス**  
※会場は全て、広島共立病院 5階セミナールームです

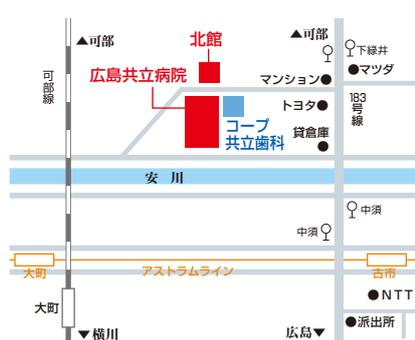
- とき: 2019年10月24日(木) 19:00～
- 内容: 第47回特別講演
- 講師: 広島大学病院 リハビリテーション科 教授 木村 浩彰先生

---

- とき: 2019年11月13日(水) 19:00～
- 内容: 第48回特別講演  
「最近の呼吸管理の考え方」
- 講師: 広島大学大学院 医系科学研究科 救急集中治療医学 教授 志馬 伸朗先生

---

- とき: 2019年12月11日(水) 19:00～
- 内容: 第48回安川河畔カンファレンス (YRC)3演題



ISO 9001  
BUREAU VERITAS  
Certification

日本医療生活協同組合  
**広島共立病院**  
〒731-0121 広島市安佐南区中須2丁目20-20  
TEL.082-879-1111(代)  
URL <http://www.hiroshimairyo.or.jp>  
E-mail [kyoritsu@hiroshimairyo.or.jp](mailto:kyoritsu@hiroshimairyo.or.jp)